

リサーチフェスタ 2020

開催日：2020年12月20日（日）10：00～16：00

会場：甲南大学 ※オンライン形式

主催：甲南大学

共催：兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、西宮市教育委員会

- 日程：10：00～10：30 開会式およびガイダンス①
- 10：35～12：10 前発表
 - 12：10～13：05 昼休憩
 - 13：05～13：25 ガイダンス② ポスターセッションセミファイナリスト
 - 13：30～15：45 本発表
 - 15：50～16：00 ワーク（審査および気づきノート）
 - 16：00～16：20 閉会式

今年度はオンライン形式での開催となり、学校から参加した。前発表と本発表と、複数回、発表する機会に恵まれて、貴重な助言を得ることができた。より深く考察するためのアンケートの取り方、探究の目的設定などに関する質問や助言を得て、探究活動への理解をさらに深めることができた。

【当日発表ポスター】

「災害時の多言語対応」

「尼崎の公害問題」

災害時の多言語対応

兵庫県立尼崎小田高等学校 国際探求学科 2年 今村、榎、大井、小田

このテーマにした理由

- ①本校ALTが大阪北部地震(2018)の際に困ったという話を聞いて、どうにかしないといけないと思ったから
- ②在日外国人が増えているので、自然災害に関する情報を今よりもっと知ってほしいと思ったから

調べたこと・気付いたこと

8/25に災害に関する基礎知識を身につけるために、人と防災未来センターに行った

- 一阪神・淡路大震災の時(1995)にどのような被害が出たのか分かった
- 一自然災害のカテゴリーアイコンが分かりづらい

SDGsワークショップ(1/1)を企画し、災害時に必要なものをみんながどれだけ把握しているかについて、ゲーム形式をとり調査した

行ったワークショップについて

11月1日(日) SDGsフェア in ODA
防災グッズのカードを使ってゲーム形式で！
試作のパンフレットのコピーを配布

ホテルを防災グッズに含むか悩んでいる人が多かった
ポータブルトイレの認知が低かった

今後の予定
防災の情報をまとめて多言語に対応したPDFづくり
→尼崎小田高校・国際探求学科のホームページに載せる

そのPDFを印刷し/インフレットにする
→日本語学校など、外国人の方が利用する施設に置いていただく



尼崎が抱える公害問題

兵庫県立尼崎小田高等学校国際探求学科2年 泉、吉田、脇

私達は、NPO法人の方とワークショップで尼崎について話し、尼崎が抱える公害問題とその問題を解決するために私達に出来ることを調べました。

ロールプレイ8月
NPO法人尼崎オープンカレ参加 11月

いろいろな立場の人の考えや気持ちを知る。
公害の現状を知る。

尼崎の公害の過去
1960年代に、尼崎気汚染
原因一化石燃料
被害一ぜんそく、慢性気管支炎、等の患者が多くなった。

尼崎田神崎工(観 クボタ)
原因一アスベストを用いた水道管、建材を制作
被害一工場の周辺住民にアスベスト疾患

尼崎の環境についての現状
現在尼崎は平成25年3月15日から
環境モデル都市に選ばれている

環境モデル都市とは？
温室効果ガスの大幅な削減など、低炭素社会の実現に向け、高い目標を掲げて先駆的な、取り組みにチャレンジする都市として、国が選定しているものです。

環境モデル都市設定都市の数
平成20年度に13都市
平成24年度に7都市
平成25年度に3都市の
合計23都市が選定されている。

環境モデル都市になっても
まだ、完全に環境が良いというわけではない

多くの家庭が、エアコンを利用している中
石油ストーブを利用している人がいる。
石油ストーブ一電気代から少ない！
結果一石油ストーブを使う家庭が増え
石油ストーブは体にも環境にも悪い。

今後の取り組み

1. 学校に提案
私達は市内の高校生に焦点を当てた普段の学校生活の中で可能な発電
EX 椅子や廊下、階段などに感圧板を設置
↓
電気蓄積される
↓
その電気を利用する
2. アンケートの結果

まとめ
皆さんはもう公害の被害にあわないと思わずこれから尼崎をどうよりよくなるか考えなければならない。まだ、公害の被害は終わっていません。なので、これからの世界をどうしていくかそれは、貴方次第です！

啓発活動
2学年全クラスにアンケートを実施しました
そして、その結果に基づきこれからの活動活かしていけたらいいと思います。また、NPO法人の方々と、協力して広報活動を行っていききたいと思います。

